

国語プリント No. ( )

年 組 番 名前

配布日 月 日 曜

## ナハ・エア・ツェールンク(再話)

言語技術は情報を受け入れ、自分の中で再構築し、表現することで身についてくる。この課題はそのプロセスを効果的に身につけることができる。

《この課題で身につくと思われる力》

- ・ 聞く力 ・ 記憶する力 ・ 記録する力 ・ 構成力 ・ 書く力
- ・ 象徴を理解する力 ・ 集中力 ・ その他

《課題の流れ》

- (1) 10分程度の話を聞く。
- (2) 【課題A】その話を250～300字程度の文章にまとめる。
- (3) 【課題B】この話は何を象徴しているのかを150～200字程度でその根拠をもとに記す。

《フォーマット》

- (1) ノートの使い方はいつもの通り。
- (2) 【課題A】の書き出しには「A」と記し、【課題B】の書き出しには「B」記す。
- (3) 【課題A】には必ず次の要素が1表現以上入るようにし、その要素が一番初めに表現されている箇所の右側に の番号を記す。(2回目以降は番号を記さなくともよい。)

いつ どこで だれが どのように 何をした (5W1H)

(4) 【課題B】の書き方はだいたい次の書き方を参考にする。

B  
この話に出てきた は の象徴である。なぜなら、 は話の中で なったり、×××だったりしたからだ。これは である に通じるところがある。よって は の象徴である。

《注意点》

- 1 授業時間最後に提出する。(未完成でも課題途中までの評価を行う。)
- 2 文字は黒ペンを使う。
- 3 必ず見開きページを使う。文字はマス目に入れていく。縦書き原稿用紙ノートの書き方に従う。字数オーバーして3ページ目に行ってもいいが、新しい課題は必ず見開きページから開始すること。
- 4 文字語句チェック5つ以上で再提出。
- 5 課題未完成・課題不備の場合で評価が低いと感じた場合は書き足し、文字の修正のため再提出を1度だけ認める。